

日本女子大学附属

中学校・高等学校

高校は、創立者成瀬仁蔵の「個人の自由を尊重し、自分の生活上のこと、精神上的のことは自分の意思によって実行させたい」との教育思想のもとに制服はありません。生徒達の自治活動によって毎年改正していく通学服を着用しています。

中学校は、昭和の初め頃に改まった時だけ着用していたセーラー服が、時代の流れと共に、昭和44年に標準服として毎日着用するようになりました。胸元のスカーフ止めの部分にはJ.W.U.の大学の頭文字の刺繍があり、袖のワッペンには校章でもある桜と楓の上に若鷹が乗り、眼が紅く凛々と輝き、生徒の意気を感じさせています。しかし、中学校もセーターや上着などの選択には、個々の自主性が尊重されています。